

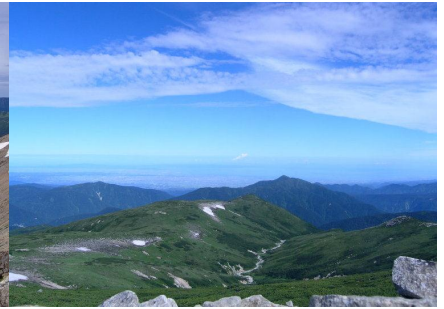
薬師岳山行記録



太郎兵衛平幕営



南稜カール



富山湾上空（青空が山のようにだ）

| | | | |
|-----|---------|-----|----------------------|
| 目的地 | 薬師岳 | 期 日 | 平成22年8月8～9日（日・月） |
| 山人 | 笠原正雄・澄子 | 特 記 | 暑さを逃れて標高の高い山へ。テント泊山行 |

| 地点名 | 時刻 | 記 事 |
|-----------------|-------------|--|
| 8日：晴れ時々曇り、気温が高い | | |
| 折 立 | 午前 10:15 発 | 有峰林道は災害のため22年度中小見線が前面通行止め。距離の長い小口川線を進む。有料道路で往復1,800円。駐車車両は路側に溢れ出していたが、キャンプ場脇に何とか入り込めた。もう一台分の隣に単年配者が軽トラでやって来た。薬師沢を2泊の予定で歩くという。登山口は賑わっていた。 |
| 立 ち 休 み | 10:45 | 5分休む。日差しが暑い。大勢の登山者と前後しながら進む。 |
| 腰を下ろして休む | 11:20～11:30 | 暑さと過重のためこまめに休む。笹だんごを食べる。 |
| 三角点ベンチ | 11:50～12:40 | 数隊が居た。前記単年配者も先着していて、隣に座る。おこわでランチ。 |
| 五光岩ベンチ | 2:00～2:15 | 土留めの階段登路となる。薄曇りとなって涼しくなった。ガスの切れ目から五光岩が少し見えた。一時だが、山頂方向と広がる草原が見えた。三角点から2.4km、太郎平まで2.0kmの表示。ここから少し下る。 |
| 太郎平小屋前 | 3:05～3:55 | 小屋前広場のテーブルベンチで大勢が談笑している。今夜は200人を超える宿泊者のようだ。青空が広がりガスが下がって山頂方向が良く見えるようになった。高天原とやや雲が掛かってはいるものの黒部源流の山々が見渡せる。ジョッキ生ビール1,000円也。ゆっくり休む。 |
| 太郎兵衛平 | 4:10 着 | テントは40～50張、登路に近いほうに張る。太郎平小屋前の人々より年齢層が下がる。管理棟ではビールも売っている。幕営料1人500円。少し下った所に水場と水洗トイレがある。5:10から夕食、細かい虫が飛んでいてうるさかった。夜中にトイレに起きたら、トイレ棟越しに富山の夜景が見えた。 |
| 8日：晴れ | | |
| テント場発 | 5:15 | 暗いうちに朝食を済ませ、明るくなってから出発する。樹林帯の登りから始まり、沢の中を登って行く。タカネヤハズハハコをみて、まだ少し暗いので帰りに撮影しようと思った。（ところが帰りにそれを見つけることが出来なかった。） |
| 稜線で休む | 6:20～6:25 | 日本海が望める所に出た。富山湾に陽が当たる。ひんやりとした風を受ける。 |
| 薬師岳山荘 | ～7:00 | 今年新築された山荘テラスでゆっくり休む。350缶を600円で買う。トイレ使用料300円也。建物内部はトイレ臭が漂う。宿泊の外国人女性がへそ出しルックで部屋の中で動いている。場違いと思いつつもそちらに目が向いてしまう。南稜カールの先に槍ヶ岳が見える。 |
| 薬師岳山頂 | ～8:10 | 北薬師岳への道が延びている。3つ目の金作谷カールはガスがどんと沸いて途中までしか見えなかった。 |
| 薬師岳山荘に戻る | 8:45 | ヤッケを着て歩く者も居たが、山荘入口の温度計は13℃を示していた。 |
| テント場 | 9:45～10:30 | 日差しが暑くなる。テント撤収。 |
| 太郎平小屋前 | 10:50～11:45 | また生ビールを買い、ランチ。晴れていい感じの雲が浮かんでいる。照ると暑い、陰れば涼しい。 |
| 五光岩ベンチ | 12:15～12:25 | 休む。今日は五光岩が良く見えた。 |
| 三角点ベンチ | 1:15～1:25 | ここまで少し長く感じる。 |
| 駐車地点下山 | 2:00 | キャンプ場では大学生らしい男女大勢が炊事中だった。水屋で歯磨きと清拭をする。立山道路に下りて吉峰温泉で入浴。 |

入山時間のせいもあるだろう、初日はあまり展望が無かったが、翌日は良く見えた。シーズン真っ盛りで大勢が入山していた。両小屋とも今年最多の宿泊者と聞いた。この暑い時期、なんと言っても山での生ビールは堪らなく美味い。下山のころには財布が軽くなっていた。それほど急登は続かないが、テントを担げば、それなりに疲れが出る。